

近代化遺産



近代建築



近世建築



編集・発行 横須賀市

別編文化遺産

販売中

B5判 一〇七九ページ／価格(税込) 四、〇〇〇円

絵画



金工



彫刻



石造物



市制施行百周年記念事業

新横須賀市史

第7回配本

購入方法

直接購入される方

横須賀市役所 本庁舎 1 階 市政情報コーナー・各行政センター・役所屋にて販売。

郵送でお求めの方

書籍の代金と送料を、現金書留で下記市政情報コーナー宛お送りください。

~~送料は 1 冊 600 円 (切手可) です。2 冊以上または市史研究などと合わせて購入される方は、送料を市政情報コーナーへお問い合わせください。~~

※住所・氏名・ご希望の書籍名・冊数を必ずご記入ください。

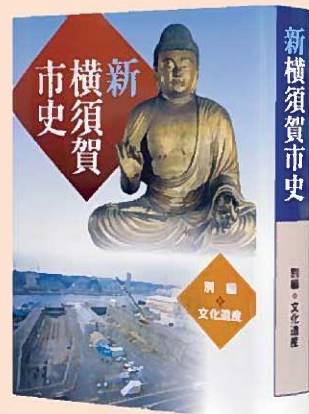
横須賀市役所 市政情報コーナー

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町 1 1 番地 電話:046-822-8186

書籍の内容についてのお問い合わせ

横須賀市総務部総務課 市史編さん担当

電話:046-822-8150 FAX:046-827-4741 E-mail:shishi-ga@city.yokosuka.kanagawa.jp



本書は、横須賀の文化遺産をまとめた初めての刊行物です。七つの専門分野を取り上げておりますが、写真や図を多用することで、わかりやすくなるよう努めました。横須賀の文化遺産は見どころがたくさんありますので、ぜひご鑑賞ください。

第一編 近代化遺産

横須賀は製鉄所を始まりとして旧海軍施設を中心に近代化遺産が多く残っているのが一つの特徴です。それらの中からたくさんの事例を取り上げ、地域ごとに解説しました。

近代化遺産には、庁舎や工場施設などの建造物のほか、日本最古のドライドック等の土木施設、スチーム・ハンマーやクレーンといった機械・設備が含まれています。

第二編 近代建築

近代建築では都市形成とともに、残っていた各種建築事例を中心に、料亭・旅館といった市街地の建築、町役場や教会などの公共建築、お雇い外国人や横須賀鎮守府長官などの官舎、社宅や市営住宅といった住宅政策のほか、住宅地が広がっていく中で見られた特徴ある住宅を紹介しています。

第三編 近世建築

近世建築は百二十余りある寺院のうち、本堂三三、境内仏堂五、門十、厨子十四、庫裏四を取り上げ、中には新たに近世建築と確認されたものもあります。また、五十五社ある神社では本殿七棟のほか、木鼻や虹梁といった装飾細部についても触れています。一方、民家では長屋門と主屋を紹介しています。

第四編 彫刻

彫刻はほとんどが仏像で、それに高僧や俗人の肖像があります。

す。掲載したのは一七四件（三三二点）で、いずれも選りすぐった平安時代から江戸時代までの作品です。特に三浦一族の仏教信仰の所産である鎌倉時代初期の運慶作を含む作品群は圧巻で、横須賀を代表する文化遺産です。

第五編 絵画

絵画は鎌倉時代から江戸時代までの作品で、仏教絵画では阿弥陀二十五菩薩来迎図や地藏十王図などが、中世の優れた作品です。障屏画では近世前期の洛中洛外図屏風があり、近隣に類例がなく貴重な作品です。このほか幕末の長島雪操の作品が、今回初めて詳細に紹介されています。

第六編 金工

金工の作品は、そのほとんどは仏教工芸品です。なかでも江戸時代の梵鐘四口は、戦時中に供出され僅かに残った貴重な事例です。特に海中出現の圓照寺銅鐘（鎌倉時代）は、龍宮に奉納され現存する唯一の鐘として著名で、衣笠城跡の経塚遺物（平安時代）と共に貴重な遺産です。

第七編 石造物

石造物は中世の石塔類で、いずれも仏教信仰に基づき造立されたものです。完形品はほとんどなく、主なものとしては三浦一族関係の寺院や個人宅に鎌倉時代前期の当初の部分が残る五輪塔が存在します。また、鎌倉時代後期の複数の板碑や五輪塔があり、歴史資料としても貴重です。

新横須賀市史 別編文化遺産 の特徴

新横須賀市史刊行のお知らせ

新横須賀市史は、市制施行百周年を記念して刊行する、本市初めての本格的な市史です。今回刊行の「別編文化遺産」は、初の別編になります。また、毎年一回刊行の「市史研究横須賀」（18号）のほか、写真集なども刊行しています。



刊行計画（平成・年度）

年	書籍名	年	書籍名
15	資料編 古代・中世Ⅰ	22	資料編 近現代Ⅲ
16	資料編 近世Ⅱ		通史編 自然環境・原始・古代・中世
17	資料編 近現代Ⅰ		通史編 近世
19	資料編 古代・中世Ⅱ	23	別編 軍事
	資料編 近世Ⅰ	24	別編 民俗
20	資料編 近現代Ⅱ	25	通史編 近代・現代
21	別編 文化遺産		別編 年表
	別編 考古		